10/25 講演集会

日本とイスラエルの植民地主義

～先住民族アイヌとパレスチナ人のたたかい～

日時：2025 年 10 月 25 日(土)

午後1時半～4時半(開場1時 15 分)

会場：中野産業振興センター(旧中野勤労福祉会館)
大会議室

(JR 中央線・地下鉄東西線中野駅南口から徒歩5分)

https://nakanosangyoushinkou.jp/access/

集会プログラム

★講演 早尾貴紀さん (東京経済大学教員)

著作:『パレスチナ、イスラエル、そして日本のわたしたち―〈民族浄化〉の原因はどこに あるか』(皓星社)『イスラエルについて知っておきたい 30 のこと』(平凡社)、『いつの日かガザが私たちを打ち負かすだろう』(青土社)、訳書にハミッド・ダバシ『イスラエル＝アメリカの新植民地主義―ガザ〈10.7〉以後の世界』(地平社)など

★発言：宇佐照代さん (アイヌ文化伝承者)

★質疑応答・話し合い

★資料代　500円

2 年以上にわたりパレスチナ人の抹殺、ジェノサイドが続いています。この状況の根本にあるのは、イスラエルによる「入植者植民地主義(※)」です。

パレスチナの状況に憤りと悔しさ、焦りをつのらせる私たちは、日本による先住民族アイヌに対する入植者植民地主義や民族差別と、向き合ってきたでしょうか？

日本にいる私たちが、今いるこの場所から何をするべきか共に考えるために、講演集会を開催することにしました。ぜひ、ご参加ください。

(※)入植者植民地主義: 先住民族を故郷から追い出し、その社会や文化を破壊しながら入植者の社会に置き換える植民地主義のかたち。

2025.9.18

共催：ピリカ全国実関東グループ・ 東大遺骨返還プロジェクトチーム・
西部地区労働者共闘会議

連絡先 ：新宿区西早稲田2−3−18キリスト教事業所連帯合同労組気付
ピリカ関東：090(8646)1886 片岡